

びわ湖かがやき カンパニー

vol. **56**
2016年2月発行

株式会社 金壽堂

古くから「鑄物のまち」として知られた東近江市長町。高度経済成長に伴い鑄物師が減少、現在でも寺院の梵鐘を鑄造するのは全国的でも数軒となり、県内では株式会社金壽堂のみ。代表取締役の黄地 浩さんを訪ねました。(取材/12月11日)

びわ湖のほとりで「キラ」っと輝く滋賀県中小企業家同友会メンバーの事業所、商品、サービスをご紹介します。

<インタビュー>
取材まとも：八木真紀(有限会社ウエスト)



「鑄物」の歴史深い長町にて 梵鐘づくりを続ける金壽堂

歴史を物語る立派な工場や建物ですね。会社のこれまでの歩みとは。

黄地 愛荘町東漸寺に、約700年前に長町でつくられた梵鐘が残っています。古くから鑄物業で栄えたこの長町で、先々が昭和24年に鑄物製造を事業化し、会社組織を設立、本社工場を創業しました。鍋や釜などの鑄物製品のほか、地域の伝統技術を受け継いだ梵鐘(釣鐘)づくりを手がけてまいりました。第二次世界大戦中、あらゆる



古くから鑄物業が盛んな長町では、ほとんどの家が鑄物業に携わっていました。(昭和10年頃)

金属が供出対象となり、江戸期以降に鑄造された多くの梵鐘が失われました。創業時の昭和22〜23年頃は、これらを復活させようとする特需で梵鐘鑄造が最高潮となり、工場は活気にあふれていました。しかしその後は鉄製品や梵鐘の需要減少に伴い、苦しい経営状況に陥っていきます。

先代が病に倒れたのは3年前の1月。東日本大震災で被災した寺院に納める梵鐘の鑄造式を控えていたときでしたが、伯父である先代に頼まれてその2年ほど前から工場で梵鐘づくりに携わっていました。思わぬ形で金壽堂の指揮をとる立場となり、事業を続けるか否かの選択を迫られました。厳しい経営状況、膨大な維持費がかかる工場や設備、周囲は当然のように反対しました。ですが、これまで先代たちが積み上げてきた鑄物師としての歴史、工場で働く従業員たち、地域有数の旧家として受け継がれてきた土地、家屋、財産などがすべて途絶えることを思うと、とても終わらせることはできませんでした。

職人たちと力を合わせ、被災地へ送る梵鐘の鑄造をやり遂げると、家業の承継を決意し、経営の立て直しを図るべく奔走しました。

「古いものを直す」 鑄物師だからこそできること これからの事業へ

社長が会社を継がれてから取り組まれた具体的な取り組みとは。

黄地 過去に梵鐘を納品した寺院の古い撞木(釣鐘を突く棒)の交換に行くと、梵鐘や銅像のメンテナンスの相談を受けることがあります。

また、檀家の減少、住職継承者の断絶などにより、梵鐘や寺院の備品を何とかしたいという相談を受けたことも。そのときは、梵鐘は溶かして再利用の道へ、仏像に係る寺院の設備や備品は販売ルートを持つ知り合いに託し、少しでも有益な処分の仕方をご提案することができ、大変喜んでいただくこ



古くなった銅像や灯籠の修理、撞木の交換などを積極的に取り扱うように。修理やメンテナンスから新たな事業への光が見えてきました。



ハワイの寺院から親鸞聖人の銅像をネットで受注。現地へ赴き、現地スタッフにアドバイスしながら据付作業を手伝いました。(平成26年冬)先々代のころから、仏教の聖地・エルサレムのほか、アメリカ、ブラジル、台湾など海外にも納入実績があります。



とができました。今、全国の寺院には経年劣化した古い設備がたくさんあり、さまざまな理由で担い手を失う廃寺が増えていきます。相談相手もいないまま放置され、崩落の危険にさらされている寺院もあります。

これまで力を入れてこなかったホームページを手直しし、きちんと機能を持たせたことで、古くなった梵鐘や銅像の修理の問い合わせが、国内はもちろん海外からも入るようになりました。小さな修理依頼を請け負うことで、再び新たな受注につながってきているの

です。このような特殊なものの修理やリサイクルは、市場も小さいですが、競争もほとんどないということ。ここに新たな事業の道筋があるのではないかと実感しています。

人々が「手を合わせる空間」を作るという奥深い仕事

仕事を通じて何か感じておられることはありますか。

黄地 仏様にまつわるものを取り扱っているからか、仕事でおうかがいする寺院では、いつも温かく迎えていただきます。ときには心を打たれる言葉をかけていただくことも。金壽堂が30年前に納入した梵鐘の撞木の交換へ行つたときのこと。新しい撞木で鐘をついたとき、近所のおばあさんが「長いこと聞いていなかったけど、久しぶりにいい音を聞かせてもらった」と話してくださいました。そして、お寺に「お蔭さまで生かしてもらっています」という気持ちを表して通りすぎて行かれました。また、梵鐘を納入したお寺にて、住職に「あなたの持つてきた梵鐘は、人々が心のより所とするもの。形は釣鐘であっても、これは仏像と同じです」と言っていたきました。

かつて仏師だったころ、高僧や師匠に教えられた「人が手を合わせるものをつくる」ということは、技術だけを追



株式会社 金壽堂

東近江市長町273番地
TEL : 0749-45-0003
<http://www.kinjudo.jp/>

い求めるのではない」という話を思い出しました。単なるモノづくりだけではなく、人々が感謝の気持ちで拝まれるような「ありがたい空間づくり」をお手伝いしているという、大変奥深い仕事をさせていただいているのだと感じています。



東本願寺本山の梵鐘を鑄造。大きさは5尺4寸、重さ4tと、近年では最大の梵鐘。(平成22年秋頃)

「びわ湖かがやきカンパニー」に掲載希望の会員様は、同友会事務局までご連絡ください。お申し込み多数の場合は、理事会等で掲載順を決めさせていただきますのでご了承ください。

滋賀県中小企業家同友会事務局
TEL 077-561-5333

体一つで行っても楽しめるスキー場

**初心者から上級者まで楽しめる
2,500mのロングコース!
温泉も自慢のひとつです**

戸狩温泉スキー場(株) 長野県飯山市豊田6356-2 TEL 0269-65-2359



大型重機から小物機械、現場ハウスや足場まで、土木、建設現場に必要なものなんでも準備させていただきます。



滋賀建機株式会社

〒529-1314 滋賀県愛知郡愛荘町中宿160-1
TEL 0749-42-8668

